

ACROSS  
編集室の

## 【先取り！トレンド】6月：プロデューサー掛け

株式会社パルコ(本社:東京都渋谷区、以下パルコ)が運営するWEBマガジン「ACROSS」では、1980年から毎月、街の若者とファッションのトレンドを「定点観測」しています。

2013年夏、ニットやシャツを肩にかける「プロデューサー掛け」が増えています！

## 【街の着こなし】



20歳・会社員▶  
差し色を入れたくてカー  
ディガンを  
羽織りました。



◀21歳・会社員  
韓国の女の子をイメ  
ジしました。

ニット素材のカーディガンやシャツなどを肩から掛けるスタイルが人気。プレッピールックの基本アレンジですが、今季人気の白や黒、グレーなどの無彩色の差し色としても支持されているようです。

## ★パルコ「ACROSS(アクロス)」編集部・高野編集長コメント

カーディガンやシャツなど、袖を通さないで肩に羽織るスタイル＝「プロデューサーがけ」が若い世代を中心にリバイバルしています。80年代バブル期に、テレビ局のプロデューサーの多くがしていたことからそう言われるようになったこのスタイル。おそらく40代以上の人は思わず苦笑してしまう人もいるのでは？

もちろん、朝晩の冷えやエアコンなどの防寒対策としての実用面からも支持されているスタイルですが、今初夏のトレンドであるネオンカラーやバイカラーなどを「ちょい足し」するファッションアイテムとして着用する人が増えているのが特徴です。

実は、「定点観測」では、2011年7月にもリバイバル！として取り上げていますが、当時は20代後半以上の男性が中心。今でいうところの「シティボーイ」の前史とでもいうようなプレッピールックのひとつとして着用されていました。

「二の腕が隠せるうえ、ストールとは違って「こなれている感」がおしゃれ」とインタビューをした20歳歯科助手の女性は着用している理由を話してくれました。

男性にリバイバルしたトレンドが約2年を経て、男女ともに、また「シティボーイ」のようなアメカジ的な着こなしだけではなく、「(色の)ちょい足し」や「おしゃれ感」の演出といった新しい「プロデューサーがけ」としてヒットしているようです。

★くわしくはこちらを見てね！ ⇒ [www.web-across.com](http://www.web-across.com)



## 渋谷パルコのショップでは



今シーズンは、女の子にも  
ストリートスタイルが人気。  
ラフさが出せるのも、  
プロデューサー掛けの  
魅力です。

▶ボーダーのタンクトップの上に  
肩からカーディガンを羽織った  
ような斬新なデザイン。  
ボーダーレイヤードライクタンク  
¥22,050(税込)  
エンフォールド/ステュディオス  
(渋谷パルコ)

◀女の子らしいワンピースをスト  
リートっぽくカジュアルダウン。  
ニットカーディガン ¥9,240(税  
込)/アナザーエディション(渋  
谷パルコ)



着丈の短いシャツは  
プロデューサー掛けに  
ピッタリ。スッキリした  
シルエットが作れます。



▲肩からかけてもごわつかない、柔らかなテンセル素材シャツ。  
テンセルデニムシャツ ¥8,925(税込)  
/ステュディオス(渋谷パルコ)

▶チェックシャツを羽織った  
アメカジコーデにネット。  
チェックスタッズ七分袖シャツ¥  
9,975(税込)  
アナザーエディション  
(渋谷パルコ)



この夏注目のアイテムを多数取り揃えています。  
取材対応も行っておりますので、ぜひお気軽にお問合せください。  
(取材時に本商品の取り扱いが終了している場合は、代品での  
対応となることをご了承下さい)